

Miya Epoch

PRO&AM
COMMAND **AD-3**

取扱説明書 使用前に必ずお読みください
なくさないように大切に保管してください

AUTO DRAG SYSTEM



MODEL AD-3



ミヤエポック

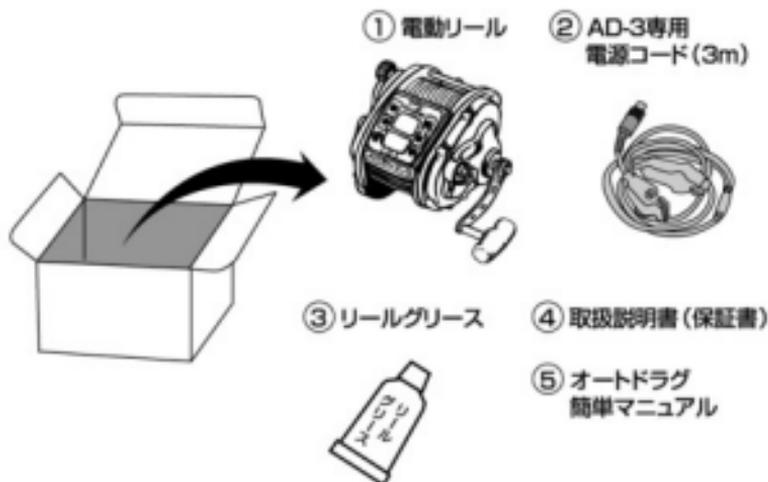
URL <http://www.miyaepoch.jp>

この度は **COMMAND** **AD-3** をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

このリールの機能を十分に発揮させ、また永年ご愛用頂くためにも、この取扱い説明書を十分にお読みの上、大切に保管してください。

梱包の内容

このパッケージの中に入っている商品です。最初を開けた時に、ご確認ください。



COMMAND AD-3 目次

梱包の内容	1P
目次	2P
COMMAND AD-3 仕様	3P
各部の名称	4P
電源の接続	5P
釣糸巻き操作	6~8P
主な機能および操作	9~19P
①船べり停止	9P
②回転数表示への切り替え	9P
③深さ記憶	10P
④綱巻取り・自動OFF	10P
⑤自動巻取りON/OFF	11P
⑥スピードコントローラー	12P
⑦スロースタート・スローストップ制御	12P
⑧釣力コントロール(ATC)	13P
⑨クラッチON/OFF	13P
⑩オートドラグ	14~16P
⑪シャクリ機能	17~19P
糸長さ補正制御	20P
警告制御	21P
AD-3を使いこなそう!	22~26P
故障かな?と思ったら	27~28P
分解図	29~30P
保証書	31P
使用上のご注意及びお手入れ方法	32P



項目	仕様					
最大糸巻量 ミヤニューディーブセンサー	4号 700m	5号 600m	6号 500m	8号 400m	10号 300m	12号 200m
(注) スプールの高さより多く巻かれますと、フリーにならなくなりますので、巻き過ぎには十分ご注意下さい。						
瞬間最大巻上力 (スプール最小径での瞬間最大)	421.7N (43kg)					
ドラッグ耐力	196.1N ~ 294.2N (20~30kg)					
最大巻上速度 (無負荷・スプール最大径のとき)	150m / 分					
巻上方式	3ウェイ(電動・手動・電動+手動)					
手巻きギヤー比	1:1.92					
電源	DC-12V 専用					
消費電流	2.6A~15A					
使用温度	-10℃ ~ 80℃					
ボールベアリング	10ヶ					
リール自重	1.8kg					
操作機能・安全機能	オートドラッグ	釣力コントロール		リモートコントロール		
	○	○		-		
	高速自動巻取	船べり停止		深さ記憶		
	○	○		○		
	無段変速	スロースタート・スローストップ		シャクリ任意設定		
	○	○		○		
電圧レベル表示	+-逆接続防止		過負荷自動制御			
○	○		○			
液晶部表示	メートル・回転数・深さ記憶(上から)・スプール回転方向 スピード設定値・電圧レベル・電圧低下警告					
付属品	AD-3専用電源コード・リールグリース					

※本仕様は改良等のため予告なく変更する場合があります。

MADE IN JAPAN

■使用上のご注意

 警告	<ul style="list-style-type: none"> ●レベラインやスプール、ハンドルなど、可動部分に手や衣服などを触らないようにご注意ください。 重大なケガにつながる可能性があります ●分解したり、指定以外の電源を使用すると、発熱や発火などの可能性があるので絶対にやめ下さい。 ●巻き上げモーターは負荷により発熱します。やけどなどの無いようご注意ください。 ●その他、釣り以外での目的でのご使用は危険ですのでおやめ下さい
---------------	---

各部の名称

COMMAND AD-3 各部名称

レベライン

スプール

コントロールレバー

スピードコントローラー

ドラッグ調整ツマミ

ハンドル

コントロールパネル

コントロールパネル部

メートル・回転数表示

深さ記憶位置表示
魚の引き

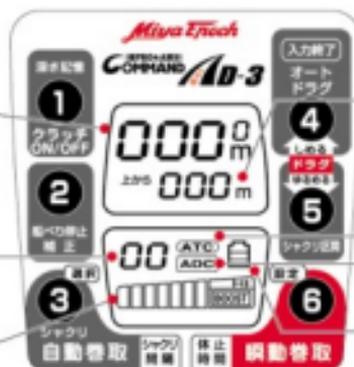
マルチディスプレイ
オートドラッグ設定
ドラッグカ
シャクリモードなどの
設定値表示

釣力コントロール表示

巻上速度表示

オートドラッグ表示

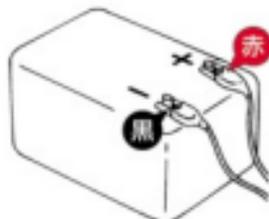
電源残量表示



- ① 深さ記憶・クラッチON/OFFスイッチ……深さ記憶 (P10) とクラッチのON/OFFに使用 (P13)
- ② 船べり停止・補正スイッチ……船べり停止位置のリセット (P9) と補正 (P20) に使用
- ③ 自動巻取スイッチ……自動巻取 (P11) とシャクリモードの開始、シャクリ間隔の設定 (P17・18) に使用
- ④ オートドラッグスイッチ……オートドラッグの設定とドラッグの寸動 (押) (P14)、および各操作の入力終了スイッチ
- ⑤ ドラッグゆるめるスイッチ……ドラッグの寸動 (緩) (P16)、およびシャクリ区間の設定 (P18) に使用
- ⑥ 瞬動巻取スイッチ……瞬動巻取り (P10) と自動巻取の停止、およびシャクリ休止時間の設定に使用

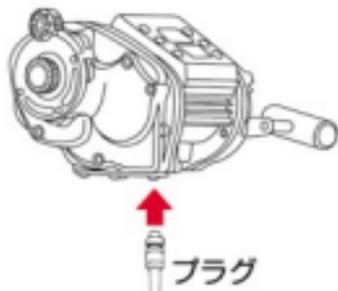
1 電源コードをバッテリーに接続します。

電源コードをバッテリー（DC-12V.12A以上）の⊕に赤カバーのクリップを
⊖に黒カバーのクリップを接続して下さい。
（バッテリーはなるべく、海水のかからない
安定した場所におきましょう。）

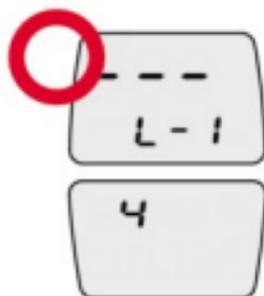


2 電源コードをリールに接続します。

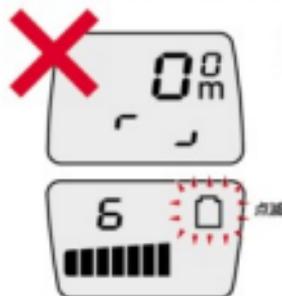
リールのコントロールレバーを手前に引き、
スプールをフリーにしてから電源コードのプラグを
リールのコンセントに接続し、リングナットを
締め固定して下さい。



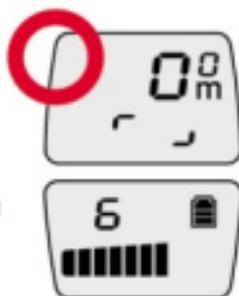
3 電源が正しく接続されると液晶画面が下图のように表示されます。



糸巻き設定前
記憶がクリアされた状態ですので、
そのまま糸巻き操作（P6）へと移行
できます。



電圧が10.5V以下
バッテリーを取り替えるか、
充電して下さい。

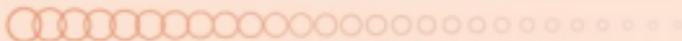


糸巻き設定後
新しく糸を巻かれる時にこの
表示が出た時は、前の記憶が残っ
ていますので、クリアして下さい。



本機は直流12V専用仕様です。他の電源（交流100V、200V等）に接続
しますと、焼損し使えなくなるだけでなく、事故の原因ともなります。

釣糸巻き操作



本機はローラーレスのメートル表示です。正しいメートル表示ができる釣糸はミヤニューディーブセンサーの4号、5号、6号、8号、10号、12号の6種類です。糸巻き時は下記の手順で間違いないように行ってください。

注意

- 釣糸の種類換算データは、弊社の釣糸を基準に入力しておりますので、弊社以外のメーカーの釣糸をご使用になった場合は、メートル表示と実長に多少の誤差が出る場合があります。また、弊社の釣糸をご使用いただいた場合でも、正しい巻き取り操作で巻いていただかないと、メートル表示と実長とに誤差が出る場合があります。
- 釣糸巻き操作の途中で電源を切りますと、巻取った糸のデータは無効となります。
- リールの性能を十分に発揮させるために、釣糸は必ずスプールのピンに結び付けてください。
- 糸巻量 (P3) 以上に釣糸を巻かないようにしてください。指定量以上に糸を巻くと正常な動作が出来ないことがあります。

1 電源の接続

電源 (DC-12V) を接続し、液晶パネルを図1の状態にします。(P5参照)



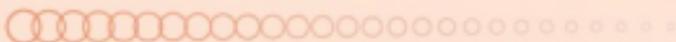
液晶パネルが<図2>を表示する時は、先に入力されたデータが残っていますので一度クリアしてください。

クリアー

- ① リールから電源コードを抜き、電源を切ります。
- ② リールの自動巻取スイッチを押したまま電源コードをリールに接続します。
(自動巻取スイッチを押したまま離さないで下さい。)



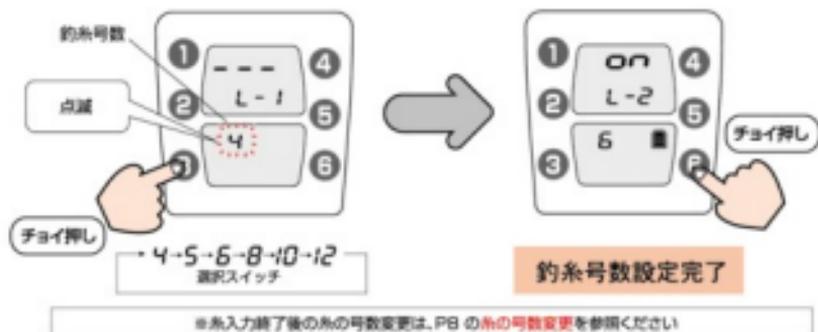
釣糸巻き操作



2 リールのガイドホルダーに糸を通し、スプールに糸を結んで下さい。

3 釣糸の選択・設定

自動巻取スイッチを押して釣糸号数を選択したあと自動巻取スイッチを押して設定します。



4 コントロールレバーを前に倒して、クラッチを締めます。

5 糸巻き操作（巻取りスピードは一定です）

自動巻き取りスイッチを押して、ミヤデンションアジャスターなどで釣糸に適正な負荷をかけながら糸を巻きます



自動巻取ボタンを押して、この状態を維持しながら巻いてください。

負荷が強すぎるため、停止することがあります。画面の点滅が停止するまで持ってから表示が「000」になるように巻いてください。

釣糸巻取り時は、必ず「000」小文字の表示範囲で巻いていただきますようお願いいたします。表示が不安定な負荷で巻かれますと、メートル表示と実長との誤差が生じますので特に御注意下さい。



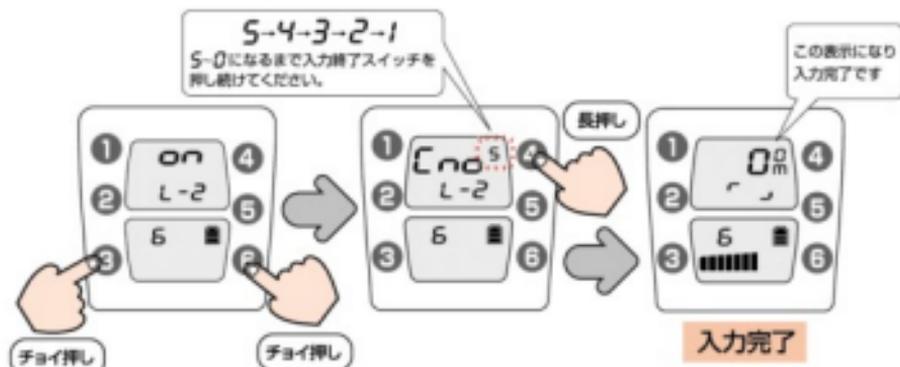
指詰め注意

糸をリードするガイドホルダー周辺に指を挟まれて、けがをする恐れがあります。



6 釣糸の選択・設定

必要量の糸を巻いたら、自動巻取スイッチまたは瞬動巻取スイッチを押して巻き上げを停止させ、入力終了スイッチ（オートドラッグスイッチ）を5秒間押して糸入力を完了させます。

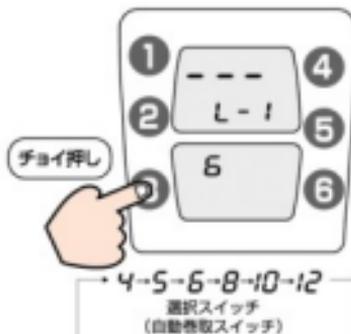
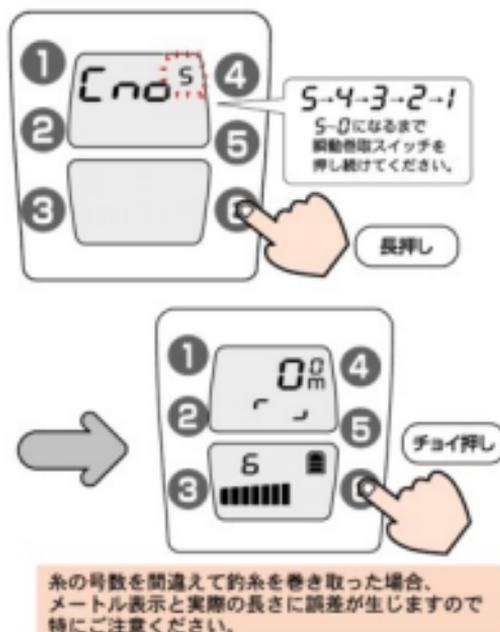


糸の号数変更

①糸巻き操作で糸の号数選択設定を間違えた時は瞬動巻取スイッチを押しながら電源コードをリールに接続し、5秒間スイッチを押したままにします。

②釣糸の選択・設定をします。自動巻取スイッチを押して釣糸を選択し、瞬動巻取スイッチを押して決定します。

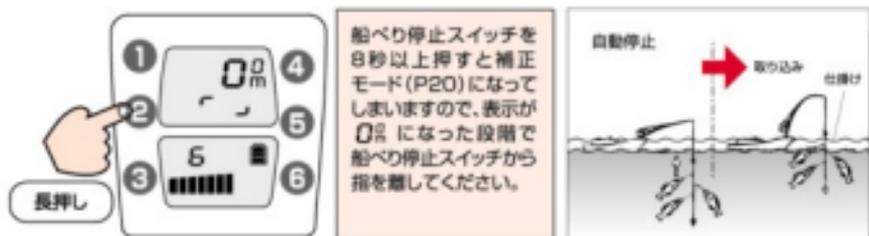
(P7-③釣糸の選択・設定参照)



1 船べり停止 3秒以上押してください

○巻上時、船べりで自動停止させたい位置 (0m 船べり停止) の設定

降ろした仕掛けを巻きあげて、魚を取り込んだり、餌を取り替えるときに、仕掛けの取り込みやすい位置で船べり停止スイッチを3秒押し、液晶表示部の「メートル・回転数表示」を 0m にして仕掛けを降ろせば、次の巻き上げ時からは瞬間巻取、自動巻取いずれの場合でも、自動的に船べり停止 (取り込みやすい) 位置で停止します。

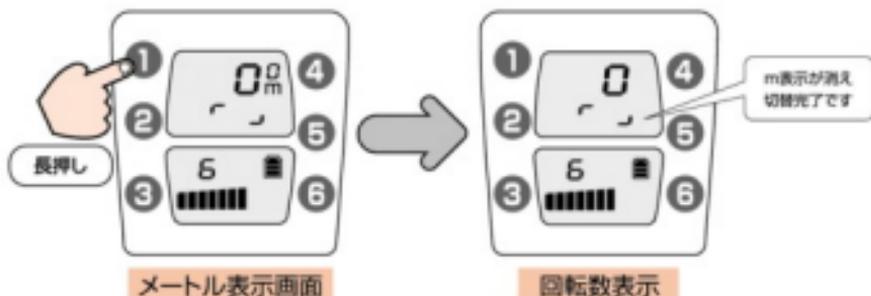


船べり停止位置は糸の伸縮や負荷などによって多少異なることがあります。軽量の仕掛けを使用される時は、初回の投入時は船べり停止位置に余裕をもって、巻き込みのないようにご注意ください。

2 回転数表示への切り替え

ミヤニューディーブセンサー4号、5号、6号、8号、10号、12号以外の糸を巻くときは、メートル表示に誤差が生じます。制御を正確に行うために回転数表示でご使用ください。

深さ記憶スイッチを押しながら電源を接続すると、液晶表示部の「メートル・回転数表示」から「m」が消えて、メートル表示から回転数表示になります。



一度電源を切り
深さ記憶スイッチを
押しながら、電源コードを
リールに接続します。



3 深さ記憶

- 自動巻停止 コントロールレバーがフリーの位置でないと動作しません

記憶させたい層で深さ記憶スイッチを3秒押せば、その深さを記憶し、液晶に<図1>のように表示します。また、スプールが糸を送り出しているときは、深さ記憶スイッチを押した時点の深さまで自動で巻き上げます。変更する場合は、変更したい層で再度スイッチを3秒押してください。記憶を解除する場合は、船べり停止位置<図2>か、記憶させたい同じ深さ（カウント）で深さ記憶スイッチを3秒押すと液晶の層表示が消え記憶を解除します<図3>



<図1> 深さ記憶

<図2> 船べり停止位置 <図3> 記憶解除状態



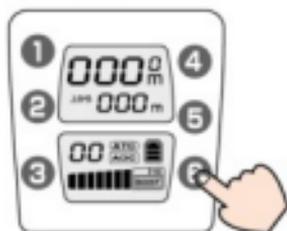
AD-3が深さ記憶で停止するときは、魚がかかった場合に対応するため常にドラッグが効いている状態で停止します。

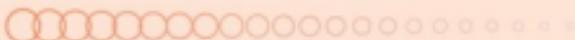
ドラッグが有効のため、オートドラッグ（P14）での設定が極端に弱い場合や、糸を繰り出す力が大きいときに、深さ記憶で停止できない場合があります。

- コントロールレバー、オートドラッグともにフリーの位置の場合に有効です。仕掛けが落ちていてもフリーの位置でないと停止しません。
- 指定した層を通り過ぎた場合、駆動モーターで巻き上げを行います。異常ではありません。
- 深さ記憶スイッチを3秒間押さない場合はクラッチのON/OFFスイッチ（P13）として動作します。

4 瞬動巻取り・自動OFF

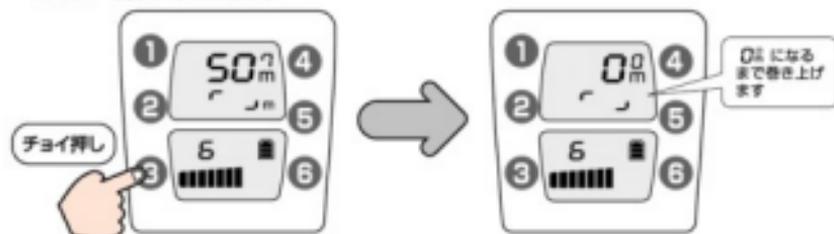
- 瞬動巻取スイッチを押している間はモーターが回転し、離すと停止します。（設定速度に関わらず最高速度で回転します）
- 自動巻取り中（P11）にスイッチを押すとモーターは停止します。





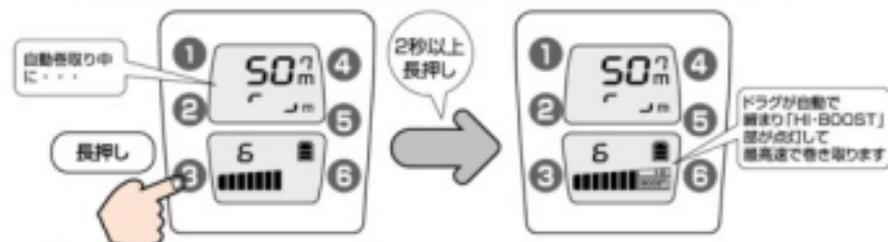
5 自動巻き取りON/OFF

- 自動巻き取スイッチを押せば、船べり停止位置(0m)まで自動で巻き上げます。ただし、液晶表示が(0m)まで巻き上げたときは、自動巻き取りはできませんので船べり停止位置(0m)以外の位置にしてください。停止させるときは、綱動巻き取が自動巻き取スイッチを押してください。



高速自動巻き取り

- 自動巻き取り中に、自動巻き取スイッチを2秒以上押し続けると、オートドラッグモード時(P14)は自動でドラッグが締まり、最高速で巻き取ることができます。

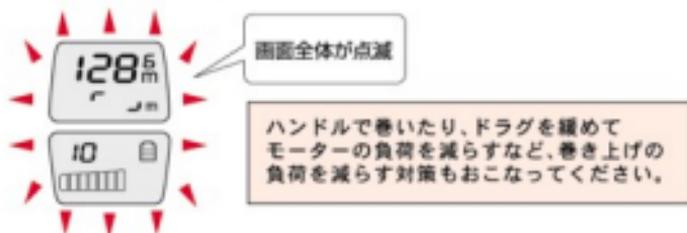


「0m」表示のときの自動巻き取り

- 0mのとき、綱動巻き取りを押すかハンドルで2m以上糸を巻くと、自動巻き取りが可能です。

「過負荷」停止

- 大物との長時間のやり取りなど、リールに大きな負荷がかかるとモーターや電気回路の保護のため、液晶表示部全体が点滅し、巻き上げを含む一切の動作が停止することがあります。液晶表示部が点滅から点灯に変わるまで待つ、再び自動巻き上げを行ってください。



6 スピードコントローラー

- 自動巻取で巻取りにスピードコントローラーを回すことにより、巻取り速度を低速から高速まで高範囲に自在に無段変速することができます。
- 速度は低速から高速までを液晶表示部に11段階に表示され、(表示は11段階ですが実際の動作は無段変速です)巻取り速度を自由に変速できます。

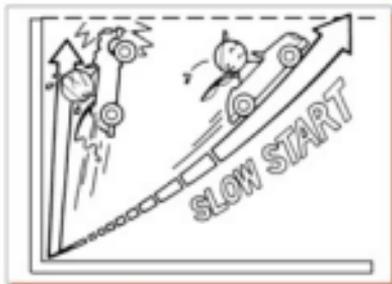
船べり停止位置直前では、下記のスローストップ制御が働くため、設定速度に関係なく低速で巻き取ります



7 スロースタート、スローストップ制御

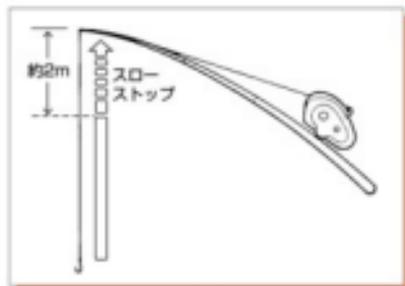
●スロースタート

自動巻取りスイッチを押しますと、スピードコントローラーにより設定されている速度まで最低速よりなめらかにスロースタートし、巻き取ります。



●スローストップ

自動巻取り中、船べり停止の2m程度手前から巻き取り速度を徐々に減速し、スローストップさせます。



スローストップ制御が働いているときは、スピードコントローラーによる速度の変更はできません。また、釣力コントロール(P13)は作動しません。



注意

長時間連続回転やON・OFFを繰り返しますと、モーター部が熱くなりますので、ヤケド等にご注意下さい。又、リールのためにも温度が下がる迄少しお待ち下さい。



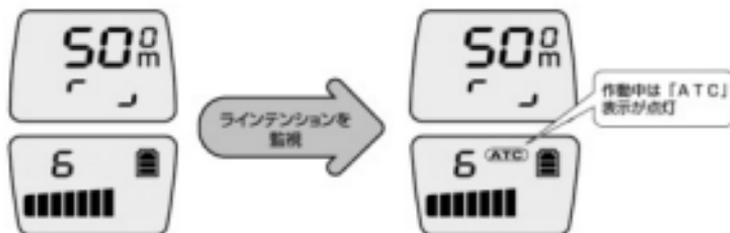
注意

糸が勢よく出ている時、スプールの上に指を置いたり、糸をつかんだりしますと、糸で指を切ったりヤケドする恐れがあります。



8 釣力コントロール(ATC)

- 釣力コントロールは魚がかかった場合など、ラインにかかるテンションの強弱をマイコンが常時監視し、自動巻き上げ中にその場面に応じた巻き上げ力とスピードに調整します。



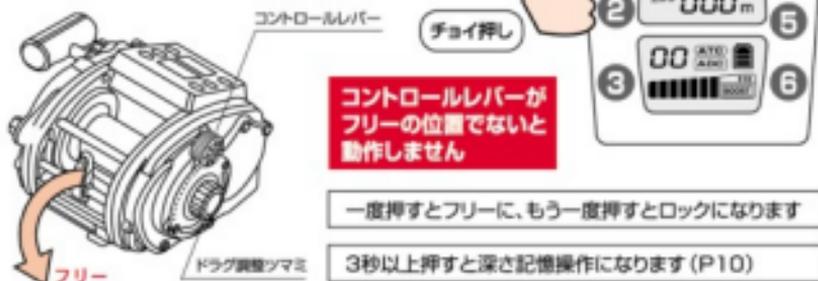
お客様の設定は不要です。リールが自動で判断して釣力コントロールを作動させます。

メモ

釣力コントロールは大物がかかった場合や重いオモリなど、負荷が強くなると作動します。ATC表示が点灯した場合、過負荷にならないようにドラッグ調整や巻き上げスピードなどにご注意ください。

9 クラッチON/OFF

- コントロールレバーがフリー（いちばん手前）の位置にある時、クラッチON/OFFスイッチを使ってスピールのフリーとロックを切り替えることができます。



- オートドラッグ(P14)が設定されているときは、ユーザー設定ドラッグ力までドラッグを締めてスピールをロックします。また、オートドラッグが設定されていないときはリールが自動でドラッグを締めてスピールをロックします。このとき、オートドラッグの設定が極端に弱い場合や、魚がかかっている場合など、糸を繰り出す力が大きいときは、スピールをロックできない場合があります。
- ドラッグ調整ツマミを締めすぎている場合など、コントロールレバーをいちばん手前にしてもフリーにならない場合は、クラッチON/OFFスイッチでもスピールはフリーになりません。

10 オートドラッグ

●AD-3はモーターでドラッグを駆動する世界初のオートドラッグ機能を搭載しています。この項目とP22の「AD-3を使いこなそう」を読んで頂き、十分に機能を生かして快適な釣りをお楽しみください。

オートドラッグ設定

①コントロールレバーとドラッグ調整ツマミを調整して最適なドラッグ力を設定してください。



重要

このときに設定されたドラッグ力がユーザー設定ドラッグ力となりオートドラッグモード時の基本のドラッグ力となります。

ドラッグ調整ツマミを締めすぎますとコントロールレバーをいちばん手前にしてもフリーにならない時がありますので、締めすぎないようにご注意ください

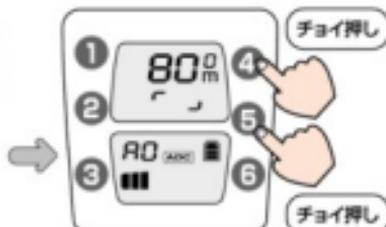
②この状態でオートドラッグスイッチを2秒間押しすと「ADC」が点滅し液晶表示部の2桁数値が「R0」になります。



③この状態でオートドラッグスイッチを押すとR0がR1→R2→R3と変化していき、R4とOFF(OF)の次はR0に戻ります。この数値はオートドラッグ時のドラッグ調整方法を示しますので、次項を参考のうえ、ご希望の数値を選択してください

ドラッグゆるめるスイッチを押すと
逆の順番で数値が変化します

→R0→R1→R2→R3→R4→R5→
→OF→RR→R9→R8→R7→R6→

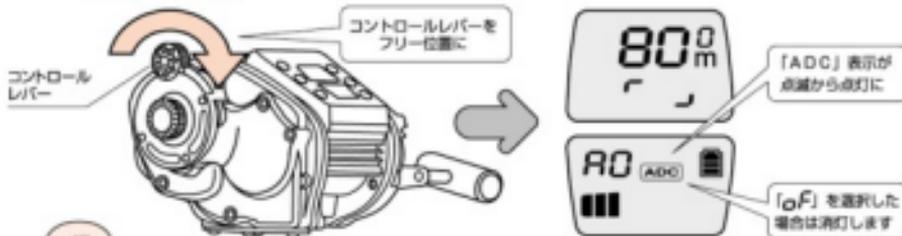


下の表の設定に基づいて、自動巻き上げ中にリールがドラッグ力を自動で調整します。

AD	A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7	A8	A9	AA	oF
強 ← ドラッグ力 → 弱										※注	

- ※注 **AA** リールが自動でドラッグを調整せず①で設定したユーザー設定ドラッグ力をキープするモードです。
oF オートドラッグOFFです。オートドラッグの機能を解除するときはこの項目を選択してください

④数値を決めたあと、コントロールレバーをフリー（いちばん手前）に戻すとオートドラッグの設定は完了です。



オートドラッグを設定すると「oF」を選択するか、新たに②以降の設定を行わない限り、電源を切っても設定値を記憶しています

オートドラッグの使用法

- オートドラッグの設定が完了すると、自動巻き取り時に魚の引きに合わせて、モーターが自動でドラッグを締めたり緩めたりして調整します

オートドラッグはコントロールレバーがフリーの位置でないと動作しないので、クラッチのON/OFFはコントロールレバーでなく、クラッチON/OFFスイッチを使用してください。

重要

自動巻き上げ中は、ドラッグ力に対して魚の引きがどの程度かを0（弱）～100（強）で表示します。
また、現在のドラッグ力を0～99で表示します。

オートドラッグのその他の機能

●ドラッグ 手動 調整機能

ドラッグモーターを使用して、ユーザーの手でドラッグをフリーからロック状態まで手動で調整できます。コントロールレバーがフリーの位置にあるとき、オートドラッグスイッチを押すとドラッグを締めて、ドラッグゆるめるスイッチでドラッグをゆるめることができます。また、ドラッグ力の現在値は0～99で表示されます。



●オートドラッグドラッグ力変更

自動巻き上げ中、補正スイッチ（船べり停止スイッチ）を押すと、「ADC」が点滅します。このとき、オートドラッグスイッチまたはドラッグゆるめるスイッチを押すとオートドラッグのドラッグ力を変更できます。一定時間（4秒）操作がないときはもとの画面に戻ります。

※設定方法の詳細はP14～P15参照。



ドラッグゆるめるスイッチを押すと
逆の順番で数値が変化します

→ R0 - R1 - R2 - R3 - R4 - R5 -
→ oF - R6 - R7 - R8 - R9 - R10 - R11 - R12 -

メモ

コントロールレバーを動作させたり、電源をつないだ時にドラッグモーターが動くことがありますが、これはドラッグモーターを正常な位置に戻すための動作で、異常ではありません

オートドラッグの詳細についてはP22の「AD-3を使いこなそう」をご参照ください

11 シャクリ機能

リールに内蔵されているシャクリを使用するとき

●AD-3には「SP(シャクリパターン)モード」と「SA(シャクリオート)モード」の2種類のモードがリールに内蔵されています。いずれかのモードを使用するには、船べり停止位置で自動巻取(シャクリ)スイッチを2秒以上押して、液晶表示部に「SP」を点滅表示させます。さらに自動巻取(シャクリ)スイッチを押すと「SP」「SA」「oF」が交互に表示されますので、使用したいモードのときに入力終了スイッチを押してシャクリ巻き上げを確認します。

注意！シャクリオートモードはコントロールレバーがフリーの位置でしか使えません

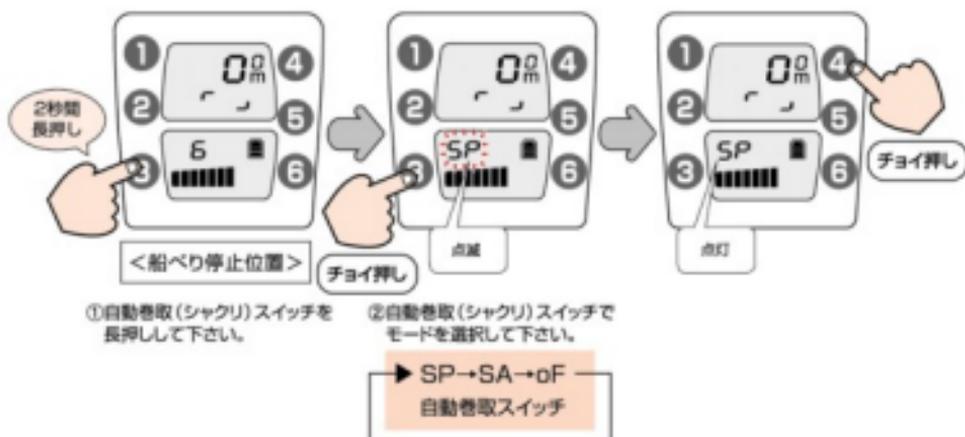
SP=シャクリパターンモード 自動巻き取り操作後、1m巻き上げて10秒休止

SA=シャクリオートモード 自動巻き取り操作後、1m巻き上げて10秒休止する動作を自動巻き取りを開始した深さから30mの間繰り返す

oF=シャクリモードをやめて通常の巻取り動作を行なう場合

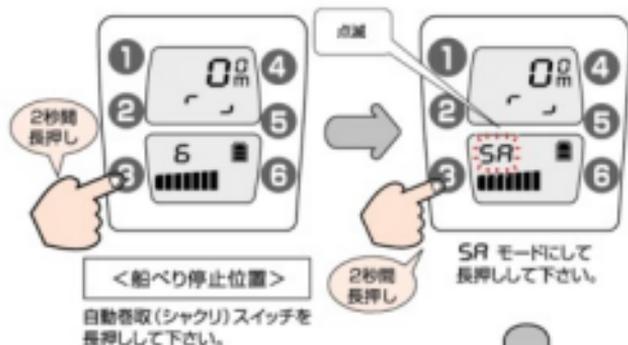
シャクリは船べりスローストップの範囲になった場合は動作しません。その際は船べりまで通常の巻取りで巻き上げます

シャクリ動作中、自動巻取スイッチを押すと、シャクリ動作をやめて通常の巻取り動作になります

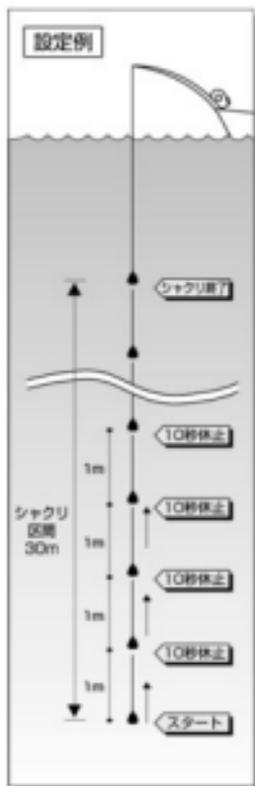
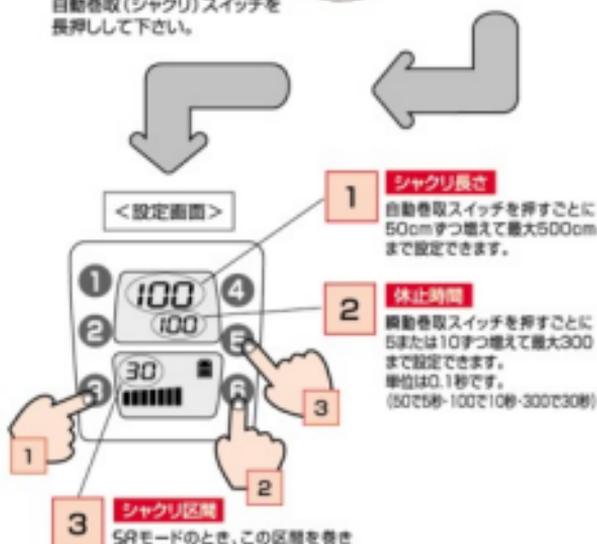


シャクリを自由に設定するとき

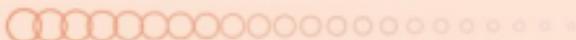
- シャクリ巻き上げの際、シャクリ幅（標準1m）、休止時間（標準10秒）、シャクリ範囲（標準30m）の3つの項目を自由に設定できます。船べり停止位置で自動巻き上げ（シャクリ）スイッチを2秒以上押して、液晶表示部に「SP」を点滅表示させます。さらに自動巻き上げ（シャクリ）スイッチを押すと「SP」「SA」「OF」が交互に表示されますので、設定したいモードのときに、自動巻き上げ（シャクリ）スイッチを2秒以上押すと設定画面が表示されます。



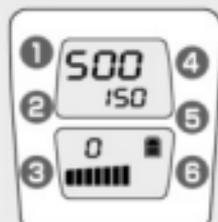
＜船べり停止位置＞
自動巻取（シャクリ）スイッチを長押しして下さい。



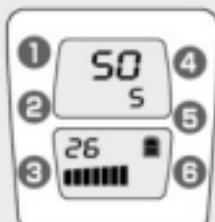
次項へ



設定表示の例



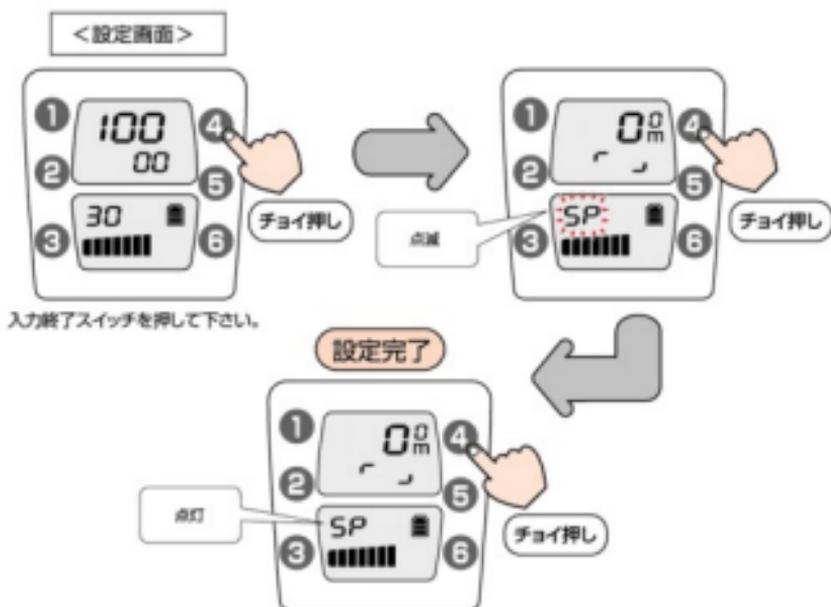
5m巻き上げて15秒間休止。
区間設定はしない



50cm巻き上げて0.5秒間休止の動作を、
自動巻取を押してから26mの区間繰り返す

- 設定が完了しましたら、入力終了スイッチを押すと、シャクリモード選択画面にもどりますので、再度入力終了スイッチを押して、モードの点滅が点灯に変われば設定完了です。次の自動巻き上げ時からシャクリモードが有効になります。

設定したシャクリのパターンは電源を切っても記憶しています。

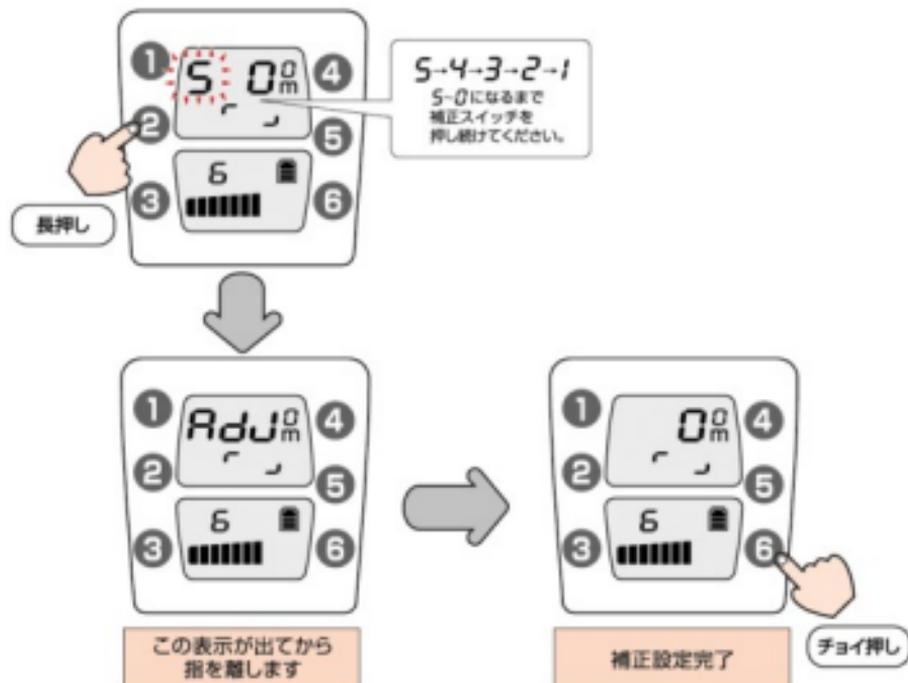




次の場合、補正スイッチを押して船べり停止位置を補正してください。

- 糸切れ補正 糸が切れたり、傷んだ部分を切り取った時
- 糸巻き足し補正 糸を巻き足したとき。●必ず同じ号数の糸を足してください
- 巻き締め補正 巻き上げを繰り返すうちに船べり停止位置が巻き足らなくなった時

瞬間巻き取りスイッチまたはハンドルで船べり停止させたい位置まで巻き上げ、補正が完了するまで補正スイッチを押しつづけます。最初に表示が0mになったあと5秒のカウントダウンになります。



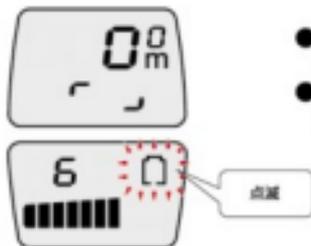
注意 補正スイッチを5秒以上押し続けてはいけない時

- ①船べり停止位置が巻き締めにより、最初の設定位置よりも下の位置で止まり巻き足らざる分を巻き取った後
- ②仕掛けの投入後に電源コードが抜けてしまい再度コードを差し込み船べり停止位置まで巻き上げた場合
- ③電源が入った状態で、糸の端をスプールに巻き込んだ場合 (空巻きをした場合)



1 バッテリー電圧低下警告

- バッテリーの電圧が10.5V以下に低下すると、液晶表示部の電池マークが点滅します。そのまま使用すると正しい動作が出来なくなる場合があります。警告表示が出た時はバッテリーの充電か交換をお願いします。



- バッテリーは自然放電します。釣行前には必ず充電してください。
- サビや断線による電源コードのトラブルで作動しない場合があります。釣行前に確認してください。

2 過負荷停止制御

- 大物との長時間のやり取りなど、リールに大きな負荷がかかるとモーターや電気回路の保護のため、液晶表示部全体が点滅し、巻き上げを含む一切の動作が停止することがあります。液晶表示部が点滅から点灯に変わるまで待って、再び自動巻き上げを行ってください。

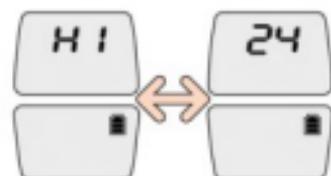


ハンドルで巻いたり、ドラッグを緩めてモーターの負荷を減らすなど、巻き上げの負荷を減らす対策もおこなってください。

3 電源の+-逆接続

- 電源のクリップを電源(バッテリー等)に逆接続した場合は、液晶が点灯せず、モーター、電源回路、制御回路への電気供給を遮断します。

4 過電圧入力警告表示



- 1秒ごとに左記の点滅を繰り返す場合は、24Vの電源に接続しているなど、正常に使用できる電圧範囲(10.5V~13.5V)を超えています。一旦電源コードを抜いて、電源電圧を確認の上、もう一度接続しなおしてください。

AD-3を使いこなそう!



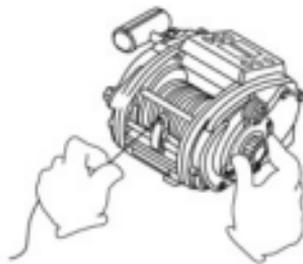
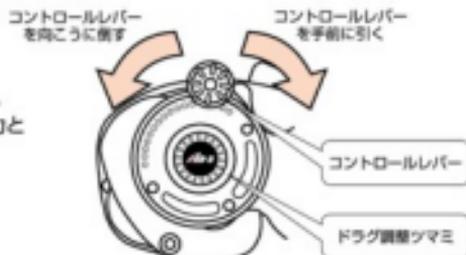
ドラグの調整方法とサミング

ドラグの調整方法

- ①コントロールレバーを中間程度に倒します。(残りの部分は大物がかかった場合の余力として残しておきます)
- ②糸を引いてドラグの強弱を確かめます。

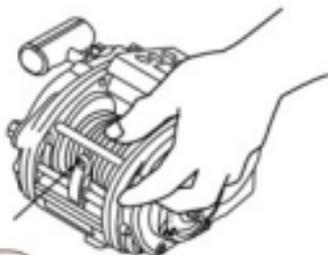
●**ドラグが強いとき**
コントロールレバーを手前に引いてドラグ調整ツマミを左に回す。

●**ドラグが弱いとき**
コントロールレバーを手前に引いてドラグ調整ツマミを右に回す適度な強さになるまでこの操作を繰り返してください。
ただし、あまりドラグ調整ツマミを右に回し過ぎるとコントロールレバーを手前に引いてもフリーにならない場合がありますのでフリーの状態も確認しながら調整してください。



サミング

- AD-3はスプールフリーを実現しており、スプール回転が大変軽くなっています。仕掛けの落下時は、バックラッシュなどのないようにサミング(スプールを指で押さえて回転をコントロールする)をしてください。



メモ

注意

サミングの際は、レベラインなどに指を挟まないように気を付けてください。

AD-3のドラグは非常に柔らかいため、ドラグ調整ツマミを少し締めつけることによってスプールブレーキとして使用することができます。

AD-3を使いこなそう!



従来どおりコントロールレバーを用いた釣り方

- AD-3はコントロールレバーが左側についている以外は、従来のレバードラグと同じ使い方が可能です。また、多板式クラッチやスプール分離の新機構を用いているため、ドラグのすべりが非常にスムーズでスプールフリーも大変軽くなっています。

コントロールレバー位置表示

- 手でコントロールレバーを操作すると液晶表示部の数値が0(フリー)から99(ロック)まで変化します。スプールをフリーにした後、もとの位置にコントロールレバーを戻す時の目安として、たいへん便利です。表示された数値は3秒たつともとの表示に戻ります。



コントロールレバーを操作すると...



この部分の数値が0~99で変化し、3秒たつともとの表示に戻ります



- オートドラグのときに表示されるドラグ値とは関係がありません。また、レバーの位置の目安ですので、直接ドラグ力へは換算できません。
- コントロールレバーを動作させるとドラグモーターが動くことがありますが、これはドラグモーターを正常な位置に戻すための動作で、異常ではありません

魚の引きを見ながらドラグ調整ができる

- オートドラグが設定されている状態であれば、手でコントロールレバーを操作しても、自動巻き上げの際には、液晶表示部の下部の数値が0から100で変化します。これは現在のドラグ力に対する魚の引きを数値化したもので、ドラグの調整時の目安として大変便利です。従来通りコントロールレバーを使われるときでも、オートドラグを設定しておくことをお勧めします。



魚の引きの強さを0~100で示します

0 = ドラグが完全に利いている状態
100 = ドラグが完全に滑っている状態



コントロールレバーを操作すると現在のコントロールレバーの位置を0~99で表示します

半自動(セミオート)での釣り方

- 自動で魚とのやり取りを行うオートドラグモードを使用しなくても、コントロールレバーがフリーの位置にさえあれば下記の機能を使うことができます。通常のリールのドラグ操作をスイッチに置き換えられますので、スイッチ操作だけで釣りが可能です。

- クラッチのON/OFF (P13) ... クラッチON/OFFスイッチ (P4-①)
- ドラグの手動調整 (P16) ... オートドラグスイッチ (P4-⑥) ドラグゆるめるスイッチ (P4-⑤)
- 深さ記憶 (P10) ... 深さ記憶スイッチ (P4-①)
- シャクリモードのSA (シャクリオート) (P17) ... 自動巻取 (シャクリ) スwitch (P4-③) 他

AD-3を使いこなそう!

半自動(セミオート)での釣りの特徴

半自動(セミオート)の釣りでは、オートドラッグの設定が行われていないため、ユーザー設定ドラッグ力ではなく、リールが自動で判断したドラッグ力が基準となります。そのため深さ記憶やクラッチのON/OFF時に思ったようなドラッグ力が得られない場合もあります。その場合はオートドラッグでユーザー設定ドラッグ力を設定してAAモードを選択してください(P14)

オートドラッグの機能を生かした釣り方

オートドラッグの制御方法

- オートドラッグはスプールの巻き上げモーターの回転差(すべり)を読み取り、必要なドラッグ力を決定しています。ですので、「AO」など、設定値を同じにした場合でも、魚の引きによってドラッグ力は変化します。

オートドラッグの設定値

- オートドラッグの設定値に関しては、下記を目安として設定してみてください。

設定値	特徴	参考魚種
A0	スプールの滑らなくなるまでドラッグを弱めます。オニカサゴなど比較的小型の魚で、根から一気に離したい場合に有効な設定です。	オニカサゴ
A1	巻き上げモーターに対してスプールのすべりを10%程度にするモードです。引きの弱い魚や、口の堅い魚を効率的に巻き上げることができます。	タラ
A2	巻き上げモーターに対してスプールのすべりを20%程度にするモードです。引きの弱い魚や、口の堅い魚を効率的に巻き上げることができます。	クロムツ
A3	巻き上げモーターに対してスプールのすべりを30%程度にするモードです。キンメダイなど口の弱い魚とのやり取りに適しています。	メダイ
A4	巻き上げモーターに対してスプールのすべりを40%程度にするモードです。キンメダイなど口の弱い魚とのやり取りに適しています。	沖メバル
A5	巻き上げモーターに対してスプールのすべりを50%程度にするモードです。キンメダイなど口の弱い魚とのやり取りに適しています。	キンメダイ
A6	巻き上げモーターに対してスプールのすべりを60%程度にするモードです。ヒラマサ・ブリなど大型の魚とのやり取りに適しています。	ブリ
A7	巻き上げモーターに対してスプールのすべりを70%程度にするモードです。ヒラマサ・ブリなど大型の魚とのやり取りに適しています。	ヒラマサ
A8	巻き上げモーターに対してスプールのすべりを80%程度にするモードです。かなり糸を出す大物との長時間のやり取りを想定したモードです。	カンバチ
A9	巻き上げモーターに対してスプールのすべりを90%程度にするモードです。かなり糸を出す大物との長時間のやり取りを想定したモードです。	
AA	ユーザー設定のドラッグ力を維持するモードです。アジなどの細仕掛けやライトタックルで大物に挑むときなど、ドラッグ力を変化させたくない場合を想定したモードです。	細仕掛 など

- オートドラッグは負荷(引き)が一定であれば、糸を出した時と糸を巻いた時に関わらず一定のすべりを維持するため、スプール径が変化しても、ほぼ同じドラッグ力を維持できます。
- 目安として、同じ負荷(引き)で引かれた場合、設定がA1の時に比べA9の時ではドラッグ力は約半分になります。(A9の方が強くすべるため、ドラッグ力としては弱くなります)

AD-3を使いこなそう!

オートドラッグ動作時の仕掛け回収

●仕掛けの回収の時

自動巻取のとき、魚がかかってもいなくても、オートドラッグは負荷に対して適正なドラッグ力を調整します。ですので、魚がかかっていなくても、ドラッグがずぶるため、仕掛けの回収に時間がかかることがあります。このようなときはドラッグを手動調整して締めて頂くか、自動巻取スイッチを2秒以上押し、高速自動巻取りにして頂くとドラッグが滑らなくなるため、仕掛けの回収が容易になります。

マルチディスプレイ表示について

●マルチディスプレイ表示

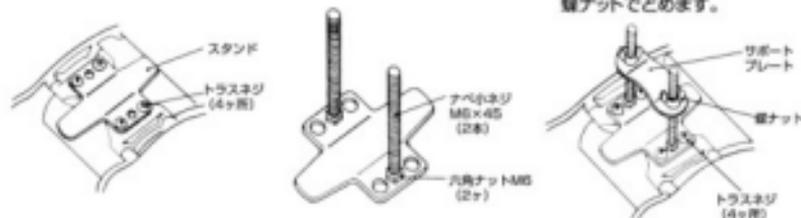
液晶表示部のマルチディスプレイ部分に表示される2桁の数値や文字については下記の意味があります。



表示	表示するモード	表示の内容
6~12	通常時	糸巻き設定時の糸の号数です
AO~A9・AA-cF	オートドラッグ設定	オートドラッグの設定値を表示しています
0~99	自動巻取	コントロールレバーがフリーのときに現在のドラッグ力を0~99で表示します
	ドラッグ手動動作	
	クラッチON/OFF	
SA・SP	シャクリ	シャクリ設定とシャクリ巻き上げ時のモード表示です
0~99	SAモード任意設定時	SAモードのシャクリ区間(m)の設定値です
0~99	コントロールレバー操作時	コントロールレバー位置を3秒間表示します

サポートプレート(オプション)の取付

- ① トラスネジ(4ヶ所)を緩め、② ナベ小ネジ2本と六角ナット2ヶで固定します。③ ②を本体にトラスネジ(4ヶ所)でとめます。半を取り付けてからサポートプレートを通し、蝶ナットでとめます。



※トラスネジ(4ヶ所)は緩み止め加工を施してありますが、取り外しは5箇位置として下さい。

**動作に問題が生じた時は、下記の内容をまずご確認ください**

●電源が入らない

- 電源は正しく接続されていますか?クリップやコネクターが外れてはいませんか?
- 電源線やコネクターが腐食していませんか?
- 本機はDC12V専用です。24V電源などに接続されていないかご確認ください。
- 電源を抜いた後、設定をバックアップをしています。このため電源を抜いてから数秒後は液晶が表示されないことがありますので、10秒ほど待ってから再度接続してください。

●正しく動作しない

- 10.5V以下や13.5V以上など、電源電圧が正常でない場合があります。電源電圧をご確認ください。
- 釣糸の巻きすぎにより、スプールに巻かれた釣糸と本体が干渉することがあります。必ず**指定糸巻き量以下**でご使用ください。

●メーター表示が正しくない

- 釣糸にかかる負荷によって釣糸の伸びが異なりますので、負荷の小さいときと、負荷の大きい場合では、メーター表示にある程度の誤差が生じますのでご了承ください。
- 釣糸にミヤニューディープセンサーを使用した場合に正しく表示されるようになっています。それ以外の糸を使用した場合は誤差が生じることがあります。

●フリーにならない

- ドラッグ調整ツマミを締めすぎている場合、コントロールレバーを一番手前に引いてもフリーにならないときがあります。
- オートドラッグが有効でドラッグが締まっている場合はフリーにならないので、クラッチをOFFにして頂くか、ドラッグゆるめるスイッチでドラッグを緩めて下さい。

●コントロールレバーが最後まで回せない

- ドラッグ調整ツマミを締めすぎている場合、コントロールレバーを最後まで回せない場合がありますので、ドラッグ調整ツマミをゆるめに調整してください。

●クラッチのON/OFFやオートドラッグが働かない

- オートドラッグやクラッチのON/OFF、深さ記憶は**コントロールレバーがフリーの位置で有効**です。コントロールレバーがフリーになっているかお確かめ下さい。

●コントロールレバーを操作した際にわずかにモーターの駆動音がする

- オートドラッグのモーターが正規の位置に戻ろうとしているため、異常ではありません。

動作に問題が生じた時は、下記の内容をまずご確認ください

●コントロールレバーが勝手に動く

- 電源が切れている状態で、極端にドラグを強く締めこむなどの予期せぬ操作を行った場合、電源投入と同時にリールが自動的にコントロールレバーをロック位置に移動させ、スプールをフリーにして指などを挟まないようにします。(安全制御)



電源を投入すると、コントロールレバーがロック位置に移動してスプールのフリーになる

この場合は、すみやかに電源を抜いて頂き、コントロールレバーをゆっくりとフリーの位置に戻してから（モーターを回しますので重くなります）再度電源を投入すると元の状態に戻ります。

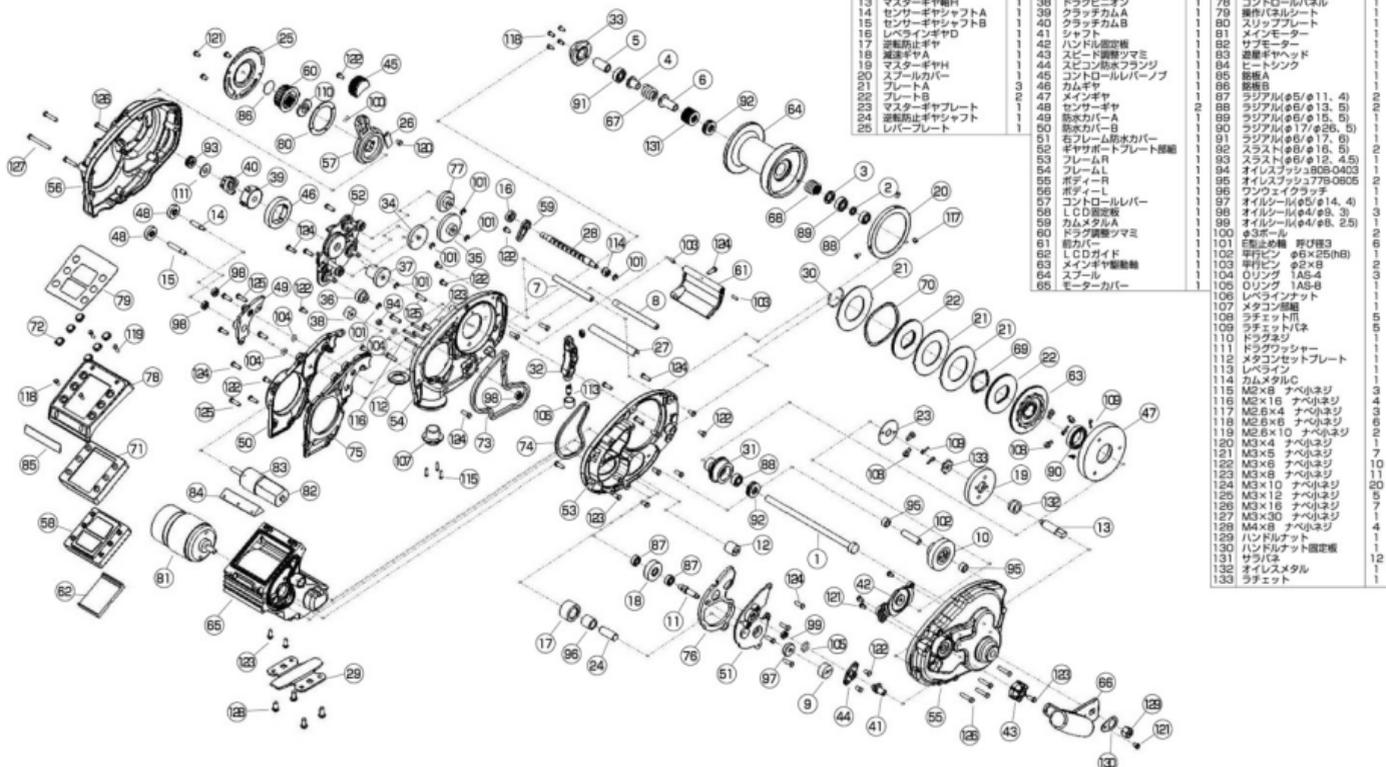
●過負荷の復帰に時間がかかる

一度過負荷で停止すると、モーターなどがすでに発熱しているため、復帰までに時間がかかります。過負荷停止にならないようドラグや巻上速度の調整をして頂くことをおすすめします。

●表示から巻き上げ出来ない

電源を入れ忘れて、仕掛けを投入したあとに電源を入れた時など、表示状態から極端に長い距離を巻き上げると、巻き上げができなくなる場合があります。この場合はクリアーの処理をして、データをリセットしてください。

※クリアーした場合は、再度、糸入力設定をしてください。



番号	部品名	数量	番号	部品名	数量	番号	部品名	数量
1	メインシャフト部組	1	26	クリックリネ	1	66	ハンドル部組	1
2	ベアリングスベーター	1	27	レベラインケース	1	67	仕組ねじ(φ2.5)	1
3	モーションガイド	1	28	リールケーブル	1	68	仕組ねじ(φ1.5)	1
4	スプリングガイド	1	29	リールシート	1	69	ウエーブワッシャー-A	1
5	スベーター	1	30	ストップリッピング	1	70	ウエーブワッシャー-B	1
6	ケーブルガイド	1	31	マクローヒューズ	1	71	パネバルコモン	1
7	ガイドバー	1	32	ガイドホルダー	1	72	スイッチゴム	1
8	取り付けバー	1	33	レベラインギヤA	1	73	防水ゴムA	1
9	減速ギヤB	1	34	レベラインギヤB	1	74	防水ゴムB	1
10	ギヤC部組	1	35	レベラインギヤC	1	75	防水ゴムC	1
11	減速ギヤシャフト	1	36	ドラッグギヤA	1	76	防水ゴムD	1
12	ヒースロギヤ	1	37	ドラッグギヤB	1	77	ケーブルリコーダーギヤ	1
13	マスターギヤ軸H	1	38	ドラッグヒューズ	1	78	コントロールパネル	1
14	センターギヤシャフトA	1	39	クラッチカムA	1	79	操作パネルシート	1
15	レベラインギヤシャフトB	1	40	クラッチカムB	1	80	スプリングプレート	1
16	駆動ギヤシャフトD	1	41	シャフト	1	81	メインモーター	1
17	駆動ギヤA	1	42	ハンドル固定板	1	82	サブモーター	1
18	減速ギヤA	1	43	スピード調整つまみ	1	83	調整ギヤヘッド	1
19	マスターギヤH	1	44	スピード駆動フランジ	1	84	ヒールシリンク	1
20	スプリングカバー	1	45	コントロールレバーノブ	1	85	調整板	1
21	プレート	3	46	カムギヤ	1	86	駆動板	1
22	プレートB	2	47	メインギヤ	1	87	ラジアル(φ5/φ11, 4)	1
23	ウエーブワッシャープレート	2	48	セクターギヤ	2	88	ラジアル(φ8/φ13, 5)	1
24	逆転防止ギヤシャフト	1	49	防水カバーA	1	89	ラジアル(φ6/φ15, 5)	1
25	レバープレート	1	50	防水カバーB	1	90	ラジアル(φ7/φ26, 5)	1
			51	右レバー防水カバー	1	91	ラジアル(φ8/φ17, 6)	1
			52	ギヤサポートプレート部組	1	92	スラスト(φ8/φ16, 5)	1
			53	プレートR	1	93	スラスト(φ8/φ12, 4.5)	1
			54	フレーム	1	94	オイルシリンク0505-0403	1
			55	ボディー	1	95	オイルシリンク77B-0605	1
			56	ボディー	1	96	フロッグエクストラ	1
			57	コントロールレバー	1	97	オイルシリンク(φ4/φ14, 4)	1
			58	L/D固定板	1	98	オイルシリンク(φ4/φ8, 3)	1
			59	カムカムA	1	99	オイルシリンク(φ4/φ8, 2.5)	1
			60	ドラッグ調整つまみ	1	100	43ボーム	1
			61	駆動カバー	1	101	E型止め輪 厚0.93	1
			62	L/Dギヤ軸	1	102	平ワッシャー φ8×25(h8)	1
			63	メインギヤ駆動軸	1	103	平ワッシャー φ2×8	1
			64	スプール	1	104	リング 1AS-4	1
			65	モーターカバー	1	105	リング 1AS-6	1
						106	レベラインノット	1
						107	メタコン部組	1
						108	ラatchet	1
						109	ラatchetパネル	1
						110	ドラッグネジ	1
						111	メタコンリコーダー	1
						112	メタコンサポートプレート	1
						113	レベライン	1
						114	カムカムC	1
						115	M2×8 ナベ小ネジ	1
						116	M2×16 ナベ小ネジ	1
						117	M2.5×4 ナベ小ネジ	1
						118	M2.5×6 ナベ小ネジ	1
						119	M2.5×10 ナベ小ネジ	1
						120	M3×4 ナベ小ネジ	1
						121	M3×5 ナベ小ネジ	1
						122	M3×6 ナベ小ネジ	1
						123	M3×8 ナベ小ネジ	1
						124	M3×10 ナベ小ネジ	1
						125	M3×12 ナベ小ネジ	1
						126	M3×16 ナベ小ネジ	1
						127	M3×30 ナベ小ネジ	1
						128	M4×8 ナベ小ネジ	1
						129	ハンドルノット	1
						130	ハンドルノット固定板	1
						131	ラatchet	1
						132	オイルメタル	1
						133	ラatchet	1